

平成18年度財団法人埼玉県体育協会
第2回評議員会議事録

日 時：平成19年3月26日（月） 午後2時00分より

会 場：財団法人埼玉県自治会館4階ホール

出席者：40名 代理者：1名 委任者：38名 理事陪席：19名 陪席1名
事務局：5名

定足数の確認

○評議員94名のうち出席41名・委任38名合計79名、寄附行為第25条第2項により評議員会成立を報告。

あいさつ 坂本会長 廣川スポーツ振興課長

○議長は寄附行為25条により坂本会長。

報告事項

第62回国民体育大会の成績について

○第62回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会は、1月27日（土）から31日（水）の5日間、群馬県前橋市・高崎市・渋川市において開催された。競技成績は、スケート競技が天皇杯第12位・皇后杯第10位を収め、アイスホッケー競技が、北海道の連覇を阻み見事天皇杯を獲得した。スキー競技会は2月10日（土）から13日（火）の4日間秋田県仙北市・鹿角市・由利本荘市で開催された。天皇杯第15位・皇后杯第11位を収め、冬季大会通算成績は、天皇杯149点を獲得し第9位、昨年よりも48点多く獲得した。皇后杯も11位と躍進した。第62回国民体育大会の目標は、第2位以上という高い目標を掲げているので、良いスタートが切れた。

○ただいまの報告について何かご質問はありますか。

○承認。

平成18年度埼玉県体育賞について

○平成19年3月17日（日）にさいたま共済会館において開催した。例年は埼玉会館等のホールを使用した式典だったが、本年は施設の改修と重なったため、さいたま共済会館で行った。優秀選手賞については受賞代表者のみをご案内した関係上、例年よりも縮小しての開催となった。受賞者総数は、栄光旗1団体、栄光楯6名。功労賞競技団体40名、郡市体育協会46名。優秀選手賞493名が受賞した。上田清司埼玉県知事をお招きし、厳粛な中にも埼玉県体育賞にふさわしい格調高い式典が開催できた。

○ただ今の報告事項について何かご質問等ございますか。

○承認。

協議議事

第1号議案 平成19年度事業計画及び予算について

○基本方針は、1長年培った選手育成のノウハウを活かし、さらなる競技力向上を図り世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成する。2県民が健康で活力ある生活を築くため、さらなる県民スポーツの振興を図り、生涯スポーツ社会の実現を目指す。スポーツ振興事業では、1.総合型地域スポーツクラブの育成推進事業を筆頭にあげ、埼玉県教育委員会及び埼玉県広域スポーツセンター（通称：ふあいぶる）と連携して彩の国スポーツプラン2010に沿ったスポーツの振興を図り、且つ、総合型地域スポーツクラブの育成を図る。特に、平成19年度は、未育成市町村への総合型地域スポーツクラブ設立に向けた普及・啓発活動に力を入れて行く。2.生涯スポーツ地域振興助成事業は、2市町村以上の団体の交流を行い、広域地区のスポーツ振興と地域文化の発展を図る。3.公認スポーツ指導者養成講習会は9月からバレーボール・バスケットボール・ラグビーフットボール・ソフトボール・なぎなた・ゲートボールの6競技を実施予定。4.埼玉駅伝競走大会の開催。5.スポーツ活動の支援事業の充実では、免税募金の実施の他、新たに国民体育大会実施競技団体スポーツ安全管理推進活動を加えた。前年度の国民体育大会傷害補償制度の加入実績に基づき1人500円の還元を行う。6.加盟団体運営補助事業の実施では、競技団体へは一律150,000円の補助、郡市体育協会には、人口一人あたり1.5円及び1市町村40,000円の運営費補助を行う。II競技力向上事業では、12の強化学業を予定。彩の国アスリート育成強化学業・スポーツ環境整備事業・支援スタッフサポート事業・競技団体指定クラブ強化学業・期別強化訓練事業・中高体連育成強化学業・ジュニア育成補助事業・指導者養成資質向上事業・埼玉県強化コーチ研修会兼国民体育大会必勝対策会議・競技団体長支援企業等協議会・埼玉県スポーツ指導者研修会・国際競技派遣事業を展開する。スポーツ少年団事業は、埼玉県スポーツ少年団12種目別大会を実施する。日独同時交流事業は、来年度は宮代町にて受け入れをお願いし、10泊11日の交流を行う。この他、指導者養成事業や次代に向けたリーダー養成研修事業等を行う。IVスポーツ科学研究事業では、「彩夏到来08埼玉総体」や国民体育大会等で、誤飲による「うっかりドーピング」が起きないように、アンチドーピング教育啓発活動に力を入れていく。国体選手の健康管理事業、国民体育大会へスポーツドクターの派遣。この他、研修会・講習会を開催する。V免税募金活動の充実では、競技団体及び市町村体育協会や総合型地域スポーツクラブ育成指定クラブを指定した寄付金についても免税募金事業を活用し、スポーツ団体の活性化を図る。VIスポーツ振興くじ助成事業の促進では、販売促進に努めたい。VII広報・普及活動事業では、「スポーツ埼玉」誌の発刊。ホームページの充実。キャッチフレーズの活用。スポーツ少年団機関「スポーツともだち仲間たち」を発刊する。VIII顕彰事業では、埼玉県体育賞の実施。県内全ての小中高等学校及び養護学校等を対象にし、校内において体育・スポーツに優良な児童・生徒を表彰する財団法人埼玉県体育協会体育優良児童生徒表彰。第62回国民体育大会表彰。埼玉県スポーツ少年団表彰。IX諸会議では、理事会を年4回。評議員会を年2回。6月に郡市町村連絡会議を県内東西南北の4会場で行う。専門委員会では、総務委員会を始め各委員会を行う。V関東地区体育協会連絡協議会は関東8都県の輪番制で行われ、来年は埼玉

県で開催される。5月22日さいたま市を予定。X第62回国民体育大会関東ブロック大会については、先般3月22日に埼玉県実行委員会の設立総会を行った。中心会期が平成19年8月17日（金）～19日（日）で、県内22市3町・県外会場山梨県・群馬県・東京都にお願いしてある。実施競技は本大会29競技・冬季大会1競技。

○平成19年度予算についてご説明いたします。本会の収入の多くは県費補助金が占めており、一般会計を中心とする運営費補助と競技力向上事業・スポーツ少年団事業を中心とした事業費補助を受けている。運営事業活動収入では、補助金収入89,580,000円で、6,900,000円の増額。増額理由は、日本体育協会補助金収入で関東ブロック大会開催に伴い補助金が増える。負担金収入は2年間の検討の基、競技団体の加盟分担金の改定を行ったので、8,000,000円の増収。平成19年度の運営事業活動収入合計は繰入金等含め111,593,000円。支出については、役員職員にかかる自然増。広報費支出では、スポーツ埼玉誌の編集作業への事務分担の確保が出来なくなったので発刊を年1回とし4,000,000円の減額。スポーツ活動支援事業支出では、新規事業として国民体育大会実施競技団体のスポーツ安全管理推進活動を増額。運営事業活動支出合計は109,612,000円、次期繰越収支差額の20,000,000円を今回から始めて計上した。本会の収入の多くは県費補助金が大きな拠り所なため、第1回の支払いが概ね6月下旬なことから、4月から6月における職員給与・事務局の使用料等運営にかかる支払いについては繰越金を充ててきた。会計事務所等と相談し次期繰越収支差額に義務的経費として計上した。スポーツ振興事業特別会計については、運営費同様県費補助金が多くを占めており、5%マイナスの8,580,000円の減額で、162,870,000円。日本体育協会補助金収入では、養成講習会等の増額。スポーツ少年団の登録料収入、少年団事業への参加料収入等合わせて、スポーツ振興事業活動収入合計227,913,000円。選手強化にかかる経費は例年並みの99,871,450円を計上。平成18年度に新規事業で予算化された「彩夏到来08埼玉総体育成支援事業」については、7,500,000円減額の20,500,000円。スポーツ少年団事業は例年のとおり。生涯スポーツ振興費支出は、国民体育大会現地本部経費や役員・職員の派遣を精査し減額した。スポーツ振興事業活動支出合計227,370,750円。事業部特別会計は大宮公園にある飛行塔及び付属品の売り上げ15%が収入。保険料については、会計事務所と確認したところ、請負業者が負担すべきとのご指導をいただいたので、委託先である東京ハイランド社が負担することとなった。学校体育団体等補助事業は全額県費補助金で21,180,000円、学校体育協会・県小学校体育連盟・県女子体育連盟の学校体育団体等補助金が2,600,000円、県高等学校体育連盟8,125,000円県中学校体育連盟5,570,000円、県体育指導委員協議会900,000円、県レクリエーション協会3,985,000円。免税募金特別会計では2,000,000円を計上。日本体育協会の免税措置をとるため特別会計として行う。スポーツ振興くじ助成事業特別会計は平成19年度も助成がないので休眠状態。収支予算書総括表は各会計を合わせてある。

○ただいまの説明について何かご質問・ご意見等ございますか。

○競技団体負担金額についてですが、Aグループが300,000円、Bグループが200,000円、Cグループが150,000円となり、負担金が県体協からの補助金の額を超えてしまう。負担金を上げる必要について具体的な説明をお願いしたい。

- 本会の運営は多くが県費に依存している。県費については例年マイナスシーリングを受けているうえ、また、県の包括外部監査の指摘事項として自己財源を確保するようにご指導を数年前から頂いていたので、検討委員会を設けて検討し今回のグループ分けとした。従来は 50,000 円の負担金に対して 150,000 円の補助を行っており、一番多いときは 500,000 円の補助を行っていたと記憶しているが、県費の減額に合わせて補助金も減少した。この後の協議事項にも関係してくるが、競技の新規加盟団体については、今までは国民体育大会実施競技団体に限ってきたが、時代のすう勢の中で門戸を広げていく場合、新規加盟団体を増やせば支出が増えてしまう。補助金が確保できないと加盟を認められないことになる。財源確保の指導並びに新規加盟団体の増加の観点から見直しを行った。見直しをしていく段階で、運営補助金を出している都道府県は本県だけだったので、維持は厳しくなってきた。
- グループの金額の設定方法を教えて欲しい。
- 全国の都道府県の状況を調査しグループ分け及び金額の設定をした。グループ分けは、決算額を基準に、1000 万円以上を A グループ、500 万円以上を B グループ、それ以下を C グループに分けた。途中経過には各団体の登録金の徴収状況を考慮することもあったが、最終的には財政規模（決算額）になった。
- 分担金の算出方法は、県体育協会の財政状況から算出したのではなく、全国的な状況を鑑みて設定したことでよろしいか。
- 基本は本会の状況を考えて設定している。毎年改定をするわけには行かないと思うので、ある程度の間は（5 年から 10 年間）は見直さなくても良い設定にした。また、増えた資金で、国民体育大会実施競技団体スポーツ安全管理推進活動として還元を考慮した。
- グループ分けは競技団体の決算書を基にと言われたが、毎年の決算書を見てその都度グループ分けが変わるのか。
- まずは競技団体から申し出があれば委員会を開き検討したい。ただし、毎年決算書を見て変更ではなく、ある程度、一定の期間ごとに見直しを行う。
- 他に何かございますか。無いようであれば、第 1 号議案並びに第 2 号議案について原案のとおりご承認いただけますか。
- 承認。
- 異議なしと認め、第 1 号議案及び第 2 号議案は原案のとおり承認することにいたします。

第 3 号議案 新規加盟団体について

- 今年度 9 団体から加盟申請があり、加盟審査委員会を 2 回おこなった。加盟審査要項に従い慎重に検討した結果、埼玉県トリアスロン連合・埼玉県少林寺拳法連盟・埼玉県武術太極拳連盟・埼玉県ダンススポーツ連盟の 4 団体については、加盟規程を満たしているため、平成 19 年度からの加盟を認めて行きたい。なお、分担金については、埼玉県トリアスロン連合は B グループ・埼玉県少林寺拳法連盟は B グループ・埼玉県武術太極拳連盟は A グループ・埼玉県ダンススポーツ連盟は A グループとする。なお、本案件については、先の理事会にて承認いただいております。

○第3号議案について何かご質問等ございますか。無いようであれば、第3号議案についてご承認いただけますか。

○承認。

○平成19年度から新たに4団体が加盟することになります。本日は4団体の方々がお見えになっているので、ご挨拶を頂きたいと思います。

《埼玉県トライアスロン連合》

○長年の夢だった県体協加盟についてご支援を賜りありがとうございます。トライアスロンは歴史も浅くまだまだ発展途上のスポーツではあるが、2000年のシドニーオリンピックから正式競技として実施されている。県内の普及発展を目的に活動しているが、団体のモットーとして「地球に優しいトライアスロン・きれいな地球あつてのトライアスロン」を掲げて活動している。大会におけるゴミの分別活動はもちろん、ゴミをださない工夫や環境保全にも取り組もうとしている。今後は、皆さんと一緒に県内のスポーツの普及に寄与出来るように頑張りたい。本日はありがとうございます。

《埼玉県少林寺拳法連盟》

○県内には、高校大学合わせて約140余りの支部あり、毎年6月には約1300名による大会を行っている。また250名程度を集めた合同強化練習会を実施。今まで準加盟だったが、この度正式に加盟となりありがとうございます。

《埼玉県武術太極拳連盟》

○日頃は郡市町村体育協会の方々には大変お世話になっております。また、本日は、長年の悲願だった県体育協会加盟を認めて頂き誠にありがとうございます。今まで県体協を担ってこられた先輩の諸団体の名を汚さないように精一杯頑張っていきたい。本日はありがとうございます。

《埼玉県ダンススポーツ連盟》

○本連盟には、県内に1500名の会員がおり、社団法人日本ダンススポーツ連盟に加盟し、全国には45000名の会員がいる。日本連盟は世界ダンススポーツ連盟及びJOCに加盟している。世界ダンススポーツ連盟では、オリンピック大会の正式種目を目指し、日本においては、国民体育大会での正式種目を目指し活動している。埼玉県ダンススポーツ連盟では、何時でも選手の派遣が出来るように選手の育成と、生涯スポーツとして年齢に関係なく、健康に良い楽しめるスポーツとして普及に努めている。本日はありがとうございました。

○各団体のご活躍をご記念申し上げます。

以上全議事を終了し14時57分閉会。